



こまくさ

山形市立第三小学校
学校だより第7号
令和7年10月23日
校長：高橋 和久

『全国学力・学習状況調査』の結果から学ぶ

4月17日（木）に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に今年は、「国語・算数・理科」の3教科と「生活習慣や学校環境」に関する質問紙調査が実施されました。この調査は、日本のどこに住んでいても、適正に義務教育を受ける機会と同水準の教育が受けられるようにすることにあります。本校においても、良さを伸ばすとともに、課題を明確にし、教育改善に生かしてまいります。

☆学力調査の結果

〈全国・山形県・山形市の平均正答率（％）〉

まず、本校の6年生の学力状況ですが、国語、算数、理科ともに、全国・県・市の平均をやや上回りました。国語では、全体的にポイントが高く、特に語彙理解や話す・聞く力、漢字の運用力に優れており、基礎学力の定着が図られています。

	国語	算数	理科
全国	66.8	58.0	57.1
山形県	65	55	58
山形市	68	57	59

一方で、記述力や情報の読み取りには課題が見られます。「なぜそうなるのか。」などの問いを意識し、考えの根拠を書く、話す活動を充実させていきたいと思います。算数でも似たような傾向が見られました。計算などにより問題を解き、答えを出す力に課題は見られませんでした。が、「考え方や求め方を説明する」「式や言葉で理由を書く」という種類の問題を苦手としていることが見えてきました。解き方を、図・式・言葉を使って説明できる力を高めていきたいと思っています。理科では、全体的にポイントが高く、基礎的な知識技能の力がついています。併せて自分で考えて記述式で答える力も全国・市より高くなっています。「金属の性質」や「電気の通る道」については、定着が低く今後の課題です。どの教科も、解き正解すれば終わりではなく、そのプロセスで、お互いに考え方を交流するような授業に取り組んでいきたいと思っています。

☆学習状況調査の結果より

〈自分自身に関わること〉（そう思う・どちらかといえばそう思う）

「自分にはよいところがある」＝90％を超えている。

「人の役に立つ人間になりたい」＝100％近い

「人が困っているときは、進んで助けてあげますか」＝90％を超えている

「いじめは、どんな理由があってもいけない」＝100％近い

「将来の夢や目標を持っている」＝80％を超えている。

「地域や社会をよくするためになにかをしてみたい」＝80％近い

ご家庭、地域の方々の温かい支えがあり、自己肯定感を高く持ち、前向きに生活しようという気持ちが育っているのを感じます。子どもたちの健やかな成長のために、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。